科目番号	52022	分類	共通科目	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年
科目名	地域母子保健学特論 （Theory of Maternal and Child Health in the Community）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 後期

担当者	○渡邊 香　他６名	区分	必修	単位	1	時間数	15

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 変化する社会における地域母子保健の今日的課題について理解し、地域母子保健の意義について理解する。また、地域母子保健の政策・事業を概観し、その活動状況や課題を調査・分析し、その評価や対策について考え学ぶ。 【目標】 1．地域母子保健の意義について説明できる。 2．地域母子保健に関わる政策および事業について説明できる。 3．変容する社会における母子保健の課題について説明できる。 4．課題解決のための計画立案・対策を検討するのに必要な理論や方法を説明できる。 5．地域母子保健活動における助産師の役割について説明できる。	○	1.多様な課題に対応する高度な実践力
		2.地域住民の自立を支える統合的支援能力
		3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
		4.政策や保健事業を開発する能力
		5.災害対応や新興・再興感染症への危機管理能力
		6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	科目のガイダンス　地域母子保健学の概要	渡邊 他６名
第２回	地域母子保健の現状と課題①	
第３回	地域母子保健の現状と課題②	
第４回	地域診断と母子保健	
第５回	わが国のおもな母子保健制度	
第６回	地域母子保健活動の実際①（行政が行う母子の支援）	
第７回	地域母子保健活動の実際②（行政が行うハイリスク母子の支援）	
第８回	母子保健の今日的課題と助産師・保健師の役割	

事前・事後学習	事前学習：各回の必携および参考図書で該当する部分を学修する。 事後学習：配布資料を復習する。 レポートを課す「母子保健の今日的課題と助産師・保健師の役割」。
評価の方法	レポート（70%）、授業・討論への参加状況（30%）にて総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	◎助産学講座９ 地域母子保健・国際母子保健　我部山キヨ子他　第６版　医学書院 ・母子保健の主なる統計　令和７年度版 ・助産師のための産後ケアガイド 2023　日本助産師会出版 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。